

(総合病院国保旭中央病院)にはクリティカルパスに関する基本的な事柄からクリティカルパス活動全般に関して、濱谷浩樹先生(厚生労働



会場風景

省)には地域包括ケアに関する国の動向についてご講演いただきました。シンポジウムでは県内4名の演者にそれぞれの立場から地域連携/地域包括ケアに関する新たな展開をご発表いただきました。ランチョンセミナーでは大石 智先生(北里大学)に認知症についてお話しいただき好評でした。その他一般演題39、クリティカルパス展示10と県内各地から多数ご発表を頂き、特に地域医療連携、口腔ケア/栄養に関する演題が多く、宮崎県における地域医療/地域包括ケアの現状や展開を広く知る機会となりました。今回の開催にあたっては県立日南病院・日南市立中部病院・日南市役所でチームを組んで準備をすすめ、当日運営には日南看護専門学校学生さんにも協力を頂きオール日南で取り組めたことも本学術集会の成果と思います。皆さまのご協力により支部学術集会が無事に終了したことに深く感謝いたします、ありがとうございました。

第12回和歌山支部学術集会

学術集會会長：済生会和歌山病院病院長 松崎交作



会場風景

2017年2月4日(土)に和歌山県勤労福祉会館プラザホープにて、第12回和歌山支部学術集会を開催いたしました。当日は天候に恵ま

れ、289名の参加を頂きました。今回は、「安心・安全・満足な医療を目指して」をメインテーマとし、シンポジウムには、「安心・安全・満足な医療を目指して～多職種協働による医療の質向上～」をテーマに医師、看護師、管理栄養士、事務部のそれぞれの立場から発表して頂きました。さらに特別講演Ⅰ「地域医療構想と地域包括ケア時代への対応～安心産業のキーパーソンに求められる3つのアウトカム～」をコンサナリストの川越 満先生に特別講演Ⅱ「患者と医療者が協働する医療を目指して」をNPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長の山口育子先生に講演して頂きました。また、ランチョンセミナーでは「患者と医療チーム

の安全を支えるノンテクニカルスキル：スピークアップとリーダシップ」を大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部教授・部長 中島和江先生に講演して頂きました。また、一般演題では48題(口演30題、ポスター18題)の発表があり、何れも大変素晴らしい内容で、活発で熱心な討論が行なわれ盛会のうちに終了いたしました。

講習会開催案内

2017年度 医師事務作業補助者講習会

テーマ：講義と模擬カルテによる書類作成の実務実習を通じた実践力の涵養

医師事務作業補助者の養成のための講習会を下記要領で開催しますのでご案内致します。本講習会は、「医師事務作業補助体制加算」を申請するために必要な、厚生労働省が定める「32時間の医療に関する研修」の要件を満たしております。医療関連法規・医療安全・感染対策などの基本を、経験豊富な講師陣が解説します。さらに、臨床医による医学用語の詳説、模擬カルテを用いた書類作成の演習など、現場で役立つ実践力の涵養に重点を置いた4日間の講習会です。

実務研修のため定員が限られていますので、お早めにお申し込み下さい。本講習(全過程)修了者には、講習修了証明書を交付いたします。

・日 時 2017年5月13日(土)、14日(日)、6月17日(土)、18日(日)
(第1クール1日目5月13日は8:50受付開始、
第2クール1日目6月17日は9:10受付開始)

・場 所 日本医科大学 教育棟2階 講堂
(〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5)

・プログラム ※授業の順番等は変更になる場合があります。

第1クール

第1日 5月13日(土) 7時間

8:50	受付
9:20	開講式・オリエンテーション
9:30~10:30	病院組織、医師事務作業補助業務(概論)
10:30~11:30	電子カルテ
11:40~12:40	個人情報保護
12:40~13:30	昼食
13:30~14:30	医学用語(一般)
14:30~15:30	医学用語(脳・神経)
15:40~16:40	医療関連法規
16:40~17:40	医療保険、介護保険

第2日 5月14日(日) 7時間

8:20	受付
8:30~10:30	医学用語(消化器)
10:40~11:40	診療録
11:40~12:40	医療書類(書類一般)
12:40~13:30	昼食
13:30~16:30	書類作成(Ⅰ)